

スポーツ・健康科学センター

スポーツ・健康科学センターは、スポーツ科学、健康科学に関する教育・研究を総合的に行う大学附置研究施設です。スポーツ・健康科学に関する授業を開講するほかに、様々なサービスを提供しています。

■ 開講科目

体育科目 スポーツ・健康科学Ⅰ スポーツ・健康科学Ⅲ a
 スポーツ・健康科学Ⅱ スポーツ・健康科学Ⅲ b
総合基礎科目 スポーツと健康を考える

■ 活動の概要

1. スポーツ施設・用具の貸し出し

〔施設〕 北グラウンド／テニスコート／多目的コート／体育館／卓球場
〔用具〕 野球／ソフトボール／テニス／バドミントン／バレーボール／
サッカー／バスケットボール／卓球

2. 運動部活動への指導・協力

四大学運動競技大会／甲南大学定期戦／学内スポーツ大会

3. トレーニングルーム講習会

4. その他

スポーツ・健康科学関連図書の閲覧／公開講座／講演会



史料館

大学内の研究施設として、また、社会にひらかれた博物館として、史料を公開し次世代に引き継ぐといふ社会的使命を果たすために、様々な活動を行っています。

■ 事業と活動

- **史料の収集・保存**…公家・大名・幕臣・村の名主家や皇族・華族など中近世から近代にいたる史料、および学習院関係者史料など、14万点以上
- **出版物の刊行**…『学習院大学史料館収蔵史料目録』、『学習院大学史料館紀要』、『ミュージアム・レター』など
- **展覧会の開催**…年2～3回調査研究の成果を反映した展覧会を実施
- **公開講座の開催**…年3回、一般・学生対象
- **調査・研究**…歴史学・美術史学・学習院教育史・文学などに関する専門的研究
- **図書・史料の閲覧**…図書はOPAC、史料は備え付けの「史料目録」で検索できます。図書の館外貸し出しはしておりません。
- **学芸員課程**…館内に学芸員課程事務室と博物館実習室を設置し、学芸員資格に関する業務の窓口を担当しています。

学習院大学は博物館と連携しています

学内の博物館相当施設である学習院大学史料館の展示はどなたでも無料で見学できます。

また、学習院大学では、科学技術や美術・歴史などに対する皆さんの関心を高めることを目的として、下記の博物館と連携しています。各館の窓口で学生証を提示すると、常設展が無料で観覧できたり、一部特別展企画展が割引になるなど、お得な使い方がいっぱい！

詳細は、学芸員課程HP <http://www.gakushuin.ac.jp/univ/curator/index.html> をご覧いただくか、学芸員課程事務室（東別館内）へお問い合わせを。

【連携先】

国立科学博物館、東京国立博物館、国立美術館（東京国立近代美術館・国立西洋美術館・国立新美術館・国立映画アーカイブ）、東京都歴史文化財団（江戸東京博物館・江戸東京たてもの園・東京都現代美術館・東京都写真美術館 他）

外国語教育研究センター

外国語教育研究センターは、言語の分野における調査、研究を行う大学附置研究施設であるとともに、英語、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、スペイン語、イタリア語、朝鮮語、アラビア語、そして留学生向け日本語、計 10 言語の外国語科目の授業を開講しています。

国際化が進むなかで、外国語の重要性はますます高まっています。外国語教育研究センターは、質の高い授業を提供する努力を惜しまぬだけでなく、外国語に興味を持ち、自発的に学ぼうという意欲ある学生の皆さんを応援しています。

■ 英語

英語が世界で通用する言語であることは言うまでもなく、本学では、自分のレベルを知る目安として現在、入学時と 2 年終了時に TOEIC®L&R の全学共通試験を実施しています。NetAcademy2 というオンライン英語学習システムを導入しており、学内および学外のパソコンからアクセスできますので、ぜひ活用してください。

■ 外国語自習室（中央教育研究棟 6F）

開室時間：月曜日～金曜日 10:00～16:30

※ パソコン、CD、DVD、自習用教材、多読用英語書籍等を用意しています。

■ 英語以外の外国語

いわゆる「第 2 外国語」はゼロからのスタートですが、それゆえの学習の喜びがあります。街で見かけた言葉の意味がわかったり、その言語の話されている国々のニュースに敏感になったりと、思っていた以上に自分の世界が広がることでしょう。英語以外の言葉を学ぶことによって、英語への一極集中的な状況に対する客観的な視点が持て、また英語、ひいては母語である日本語の理解も深まります。

卒業に必要な単位の取得も欠かせませんが、単位取得後も新たな外国語に挑戦したり、同じ言語の学習を深めている学生の姿も教室でよく見られます。

東洋文化研究所

東洋文化研究所は 1952 年、安倍能成学習院長（当時）の「新たな理念と、広い視野をもって、改めて東洋に学ぶことは、日本人自身の為にも世界人類の為にも重要な仕事である」という主旨のもとで発足し、朝鮮・中国を中心とした東アジア地域に関する研究拠点として 60 年をこえる歴史を有し、関連する資料を数多く所蔵しています。毎年、レポート・卒業論文等の作成のため、多くの学生が集まります。

■ プロジェクト研究

学内の先生方を研究員とし、また学外の専門家にも客員研究員としてご参加いただき、毎年 10 件前後のプロジェクト研究を行っています。東アジアの歴史・思想・政治・法律・教育・言語などを対象とする一般研究プロジェクトのほか、学習院が所蔵している漢籍や朝鮮関連資料を調査するアーカイブズプロジェクト、若手研究者の研究支援のための共創研究プロジェクトも活動中です。

2019 年度実施予定プロジェクト

- 一般研究プロジェクト
「帝国議会の制度遺産と韓国・台湾比較から見た日本の国会」
「インドネシアの家族・地域社会に対する意識動向の州間格差の長期的な分析」など
- アーカイブズプロジェクト
- 「東アジア学」共創研究プロジェクト

■ 刊行物

年報『東洋文化研究』では、プロジェクトの研究成果のほか、学内外から広く論説の投稿を受け付けており、高水準・最新の東アジア研究の成果が掲載されています。また、単冊の研究報告として、『調査研究報告』も計 68 冊刊行されています。研究成果を広く社会に還元するため、「学習院大学東洋文化研究叢書」のシリーズを

刊行しており、2018 年度には、『日本近代における＜国家意識＞形成の諸問題とアジア政治思想と大衆文化』を刊行しました。このほか、朝鮮史の基本資料である『李朝実録』『三国史記』などの復刻も行っています。

■ 公開講座

一般向けのシリーズ講演「東洋文化講座」を 30 年より毎年開催し、まもなく 100 回を迎えます。また、それぞれの研究プロジェクトでも、海外からの招聘者や学内外の専門家による公開講座やワークショップなどが開かれています。基本的に参加無料、事前申込不要です。

■ 所蔵資料

東アジア関係の書籍・資料を中心に約 4 万冊を収蔵しています。広開土王碑拓本、朝鮮総督府関連資料である友邦文庫など、一次資料も収蔵しています。東アジア研究に必要な辞書・事典類や、四庫全書 CD-ROM、データベースなど、レファレンスも充実しており、学生の皆さんは、どなたでもこれらの資料を利用できます。

計算機センター

計算機センターは、情報処理に関する研究を行う大学附置研究施設であるとともに、情報処理に関する総合基礎科目を開講しています。

■ 開講科目

計算機センターの開講科目は、次の通りです。

これらの科目の内容等に関する質問は計算機センター事務室までどうぞ。なお、これらの科目の各学科での単位認定に関する質問は各学科窓口でご相談ください。

総合基礎科目											
情 報											
初等情報処理 1	初等情報処理 2	情報数理解析入門 1	情報数理解析入門 2	情報処理入門 1	情報処理入門 2	情報処理 1	情報処理 2	情報処理 3	情報処理 4	マルチメディア論 1	マルチメディア論 2

■ ユーザー登録

計算機センターのコンピューターを利用するためには、まずユーザー登録をしなければなりません。そのためには、総合基礎科目（情報）の「初等情報処理 1」を履修し、ネットワーク犯罪の被害者あるいは加害者にならないために、コンピューターリテラシーとネットワークリテラシーについてしっかり学ぶ必要があります。そして、学期終了後、担当教員に情報倫理およびコンピューターの基本操作について、最低限の技術と知識を習得したものと認められた（単位を修得できた）学生は、卒業まで継続して利用することができます。

■ 不正アクセスについて

本人以外のアカウントを使用することは認めていません。**アカウントの貸し借り**は厳禁です。発覚した場合はアカウントを停止します。

無線 LAN の利用

校内の無線 LAN を利用するためには、計算機センターのコンピューター利用権が必要です。利用権を持つ大学および大学院の教員や学生（研究生を含む）であれば、どなたでも無線 LAN を利用することができます。無線 LAN システムの主な設置場所は下記の通りです。

● 学生が利用できる主な場所

東 2 号館（1,2,5F）、北 1 号館（1,2F）、北 2 号館、北別館、中央教育研究棟、南 1 号館、南 2 号館、南 4 号館、南 6 号館、南 7 号館、西 2 号館、西 5 号館（B1-4F）、大学図書館（1,2F）、輔仁会館（1,2F）、百周年記念会館（ホワイエ）、富士見会館（2-4F）

● 利用するための情報

個人の端末を接続するには、設定が必要です。

詳しくは、計算機センターの Web サイト <https://www-cc.gakushuin.ac.jp> を参照してください。

■ 授業用パソコン・実習用パソコン

計算機センターでは、授業時に利用するパソコン、および、実習用にオープン利用できるパソコンを用意しています（63 ページ参照）。これらのパソコンを利用するには、各自がユーザー登録されている必要があります（次のユーザー登録参照）。

実習室 I には開室時間中、インストラクターが常駐していますので、パソコンのトラブルや使用方法についての質問をしたり、計算機センターで作成した手引書をもらうことができます。

もちろん、これ以外の授業でコンピューターを使用する場合は、ユーザー仮登録をしますので、その履修期間中のコンピューター使用は可能です。ただし、卒業までの継続利用はできないので注意してください。

また、計算機センター利用認定試験に合格した学生にも、卒業までの継続利用を認めます。ただし、この試験は、すでにコンピューターの基本操作について習得済みの学生を対象にしていますので、初心者には必ず「初等情報処理 1」の授業を履修してください。